**学外研修報告書**

共通機器部門　共通利用機器管理班

柿村 順一

**ブルカー・バイオスピン 第33回 NMRユーザーズミーティング 参加報告**

**1.　はじめに**

　核磁気共鳴装置（以後NMRと略す）の基礎的および最新の分析技術の習得、並びに情報交換を行い教育・研究支援のための知識・技術を向上させることを目的として参加した。

**2.　期間・場所**

期間：平成28年10月5日

会場：千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）

**3.　参加者等**

大学、研究所、企業等にてNMR分析および運営業務にかかわる技術者および研究者　約150名

**4.　研修内容**

聴講したワークショップ・講演の内容は以下の通りである。

ワークショップ～ NMRでわかるダイナミクス

測定時間を短縮する方法について振り返る

講演～クライオプローブとマグネット情報、最先端固体NMR技術について、海洋生物毒の構造解析と定量NMR、生体試料における固体NMRの応用

**5.　まとめと感想**

NMRは構造解析のみならずダイナミクス（分子内部運動）の計測や化合物の定量など幅広い分野で使われているが、接するチャンスが多いとは言えない。今回、ワークショップと講演にてこれらの解析手法の解説および実用例を聴講することが出来たのは今後の研究支援業務において有益であったと同時に、安定した手技の重要さを改めて認識できた。

今回の研修の内容を基に研鑚を積み、今後の業務の質と効率の向上を目指したい。